

第3 夢カタログ

Autumn-Winter 2008 Vol.22

特集・誰かに与えることができる私であるために 3
商品開発室からこんにちは 36
モノ事典 38
さっちゃんハーブ手帖 40
あはたもメッセージリング 42
グループ・店舗紹介 43

使う
味わう
楽しむ
コミュニティトレード

Living on this beautiful planet for you and somebody



Community Trade

コミュニティトレードを支える3つのブランド



【第3世界ショップ】
フェアトレード（地球の南北間にある経済格差の縮小を目指す貿易）商品。生産者の暮らしをより良くしたり、人と自然が共生する環境を整えることに役立ちます。



【地球食】
世界各地の食文化を育む、生産者の顔が見える安心な食品。持続可能な農業と、その生産者や地域を応援することに役立ちます。



【地球交流型広場ONE】
地域の伝統技術や特産を活かした商品、環境に配慮した商品など。使う人のライフスタイルを豊かにすると同時に、地域の問題解決に役立ちます。

マークの説明

手紡ぎ 手で紡いだ糸を使用しています。紡ぐ作業が増えることで生産者の仕事作りにもなっています。

オーガニックコットン 農薬や化学肥料を使用しないで作られたコットンを使用しています。

手編み 棒を使い、1つ1つ手で編んでいます。

草木染 自然の染料を使用しています。

オーガニックマーク 原料生産地または製品加工地の有機認証を受けています。

読みもの 商品にまつわるストーリーや生産者からの便りなどを紹介しているページをご案内しています。ぜひ、あわせてご覧下さい。



読みものマーク

オンラインショップ

PC <http://www.rakuten.co.jp/asante/>

携帯 <http://m.rakuten.co.jp/asante/>

ご注文金額 **10,500円以上**で**送料無料**

●全国の取扱店のご案内●<http://www.p-alt.co.jp/asante/modules/wfsection/>



Welcome Message

いまから22年前、途上国と先進国の経済格差を縮めるひとつの方法として、私たちはフェアトレードを日本で最初に事業として始めました。仕事づくりで現地の人たちの持続可能な暮らしや生産活動を応援してきましたが、途上国と先進国の格差はまだまだ大きいものがあります。そして、現在、実は同様の格差問題が日

本の都市と田舎でも起こっています。途上国で起こっている問題はいまやまさに日本の問題ともいえるのです。わたしたちは、途上国と行うフェアトレードだけでなく、日本や世界の地域で起こっている問題を解決していくために、地域（コミュニティ）同士がつながり、様々な知恵・技術、人やモノを交換するコミュニティ

リードを行っています。地域と地域、人と人がつながって、問題解決に向けた新たな知恵が生まれる、新しいものやサービスが生まれる。それが私たちのコミュニティトレードです。本誌ではそんな私たちの活動から生まれた世界のモノたちをご紹介します。

仕事と暮らしのバランス 心地よい生き方のヒント

仕事と暮らし。
自分が働いていなくても、家族の誰かが働いていると、この2つの世界に関わっていることになりました。どちらも豊かで、満たされていたと思う一方、そのバランスをとるのは、簡単ではありません。今回は、自分にあった仕事や働き方、そして暮らしを見つけた、一人の女性を紹介します。そこから見えてくるのは、自分をいづくしむ、人を思いやる、自分たちが住む土地を想う、コミュニティ・トレードの源にある、ひと本来の生き方でした。

誰かに 与えることのできる 私でいるために

ZAZEN
多美子・シエーアさん
(南アフリカ)

文・西村美也子
取材・樋口わかこ

●日本とのつながり

南アフリカの民芸品をいっばいに詰めた大きなバッグとともに現れた彼女に初めて会ったとき、外見からは想像しがたい日本語の流暢さに驚きました。「彼女」とは、私たちの南アフリカの生産者パートナー、ZAZENの多美子・シエーアさんです。

多美子さんは現在44歳で、米国カ



リフォルニア州生まれ。ご両親はア

メリカ人と日本人のダブルですが、

多美子さんが日本語を学んだのは日

本人のお母様からではないとのこと。

「戦後の結婚で父の家族から強い反

対があったため、母はあえて日本語

や日本文化などを私には教えなかつ

たようです。私は大学の4年間、1

年間の日本への留学も含め、必死に

日本語を勉強しました」

大学卒業後、世界的に名の知れた

大企業に就職した多美子さんは、バ

リバリと仕事に打ち込む日々を過こ

していました。しかし、突然、大き

な挫折を味わうことになりました。

「4年間の日本勤務も含め、合計8

年間勤めて、それなりのポジション

にもなりました。しかし、ある日突然、

きちんとした説明もなく解雇された

んです。本当にショックでした」

ビーズ製品の生産者



●南アフリカとの縁

これが彼女にとって大きな転機となります。一年半の間、興味の赴くまま時間を過こし、一人で世界を旅行してまわり、セスナの飛行免許を取得したり、モザイク画にチャレンジしたりとクリエイティブな時間を過こしました。「これからは、自分の心を大切にして、好きなことだけをやっていこうと決めたくて」と



庭で花を取る多美子さん



多美子さん。

前から南アフリカを訪れたかったという多美子さんは、95年に旅行で3ヶ月滞在し、すっかりこの国と「恋に落ちた」そうです。資金が底をついたとき、なんとか企業に就職が決まり、南アフリカで暮らすことに。その仕事を通してタウンシップ（アパルトヘイトによって作られた黒人やインド人などの、有色人種の人々が住む隔離された場所）にも深く関わることになりました。

「虐げられた人々がどんな生活を送っているのかを目の当たりにし、私は自分が何かしなければならぬと知りました」

01年に「ZAZEN」を起業し、企業コンサルティングの仕事をする一方、南アフリカ各地の生産者グループのネットワークを作りフェアトレードに取り組み始めました。

●フェアトレードは心の仕事

多美子さんが一緒にフェアトレードを進めている生産者は、HIV感染者の人たちや、それまで仕事を得る機会のなかった黒人女性たちなど

です。南アフリカのHIV感染率は世界第6位、5人に1人が感染していると言われます。人種差別問題では、アパルトヘイトは廃止されたものの、その後の改善策の実施が遅れ、治安と経済は厳しい状況にあります。失業率はある地域では80%ともいわれ、社会的な弱者には支援の手が十



多美子さん(中央)とワーカーたち

分行き届いているとは言えません。

「教育を受ける機会や技術を持たない人たちが、自分の手を使って、遠い場所の誰かに価値を見いだしてもらえるクラフトを作るようになる。それは、単にお金が入る以

上の意味を持ちます。虐待や貧困に苦しんでいたり、夫が出ていったきりで子供が飢え死にしそうだったり、そんな状況にあった女性たちから、クラフトを作る仕事を得て今に至るまでの話を聞くことがあります。彼女たちが働きはじめ、自分で稼ぎ、時にそれは生まれて初めての体験だったりして、とても誇らしげにしているところを見ると、この仕事をやっていて本当によかったと思うのです。フェアトレードは、私の心の仕事として、なくてはならないものなのです」

●自分を誰かに与えるための工夫

多美子さんの1日は多忙ですが、仕事と自分の時間のバランスをとっても上手にとっているように見えます。その秘訣は一体何でしょうか？ 多美子さんの生活にはたくさんヒントがあります。

まず、朝は5〜6時ごろ起きて、電気をつけずじろろくの灯りで過ごす。ご主人と近所を散歩してから長めのお風呂を楽しみ、ちょっと豪華な朝食をとったあと、庭の花を摘んで、飾る。

机は2つ用意して、ひとつは仕事
用でパソコンや書類などを置く。も
うひとつは、クリエイティブな活動
専用で、机の上には何も置かない。

ご主人とは必ず一緒に食事を取り、
お風呂に入る。2人が一緒に過ごせ
なくなるほど、仕事を増やして忙し
くしない、と2人で決めていたのだ
そう。

「人は常に誰かに与えなければな
らない。そのためには自分を常に与
えられる状態にしておくことです。
私は、自分の時間を大切にしてくそ、
人に与えられると思っています。人
生のバランスをとるのは常に難しい
こと。自分からそれを求めなくては
なりません。人生は短い、だからど
の瞬間も精一杯生きて、自分が好き
なことをやるのです」

●感謝とお返し

30歳でお父様を、40歳でお母様を
亡くされた多美子さん。「今は自分
をかわいがってくれる親はいないけ
れど、自分で自分をかわいがること
ができればいいと思うんですよ。

大切なのは、自分がやっているこ
とを信じること、それが違いを生み

出すのです。どのように人に挨拶を
するか、他人と接するか、いかに優
しさを示すか、1日1日の小さな積
み重ねが違いを生み出します」

多美子さんは言います。「私は今、
人生で受け取ったすべてのものに感
謝し、お返しをする番だと思ってい
ます」

自分がどんなときに楽しいか、幸
せを感じるかを知る。それを実行に
移し、自分を大切にケアしてあげる
ことが、その先にある「誰かの笑
顔」につながっていく。そして、受
け取ったものへの感謝とお返し。多
美子さんは、自分が満たされ人も満
たされるといふ、幸せな生き方を示
してくれているように思います。

一人一人の心の豊かさがまわりの
幸せにつながる。「誰かのために常
に与える準備ができていふ」自分が
いたら、素敵ですね。

西村美也子（にしむらみやこ）／大手ベンチ
ヤーキャピタルで調査事業に従事。1996
年より「WWB／ジャパン」にて市民事業ビ
ジネススクールの運営、講師を務める他、地
域活性化事業、市民バンク事務局を担当。現
在、「第3世界ショップ」および「地球交流
型広場one」マネージャー。「第3世界シ
ョップ基金」代表、「WWB／ジャパン」国
際担当理事。

トゥンガ刺繍手提げミニ

ZZ00000 ¥3,360 (税込)

色：1)赤 2)青 3)カーキ

サイズ：約18×21

素材：綿

カラフルな刺繍はすべて女性た
ちが手刺繍しています。マチが
広いので、小物やお弁当入れな
どにご利用いただけます。



トゥンガ刺繍ポプリポーチ

SA03-4005 ¥2,415 (税込)

色：1)黒 2)オレンジ 3)赤

サイズ：約13×19

素材：綿

動物のモチーフがかわいい刺繍はすべ
て女性たちが手刺繍しています。お好
みのポプリを入れてご利用いただけ
るほか、小物や化粧入れなどにも。